

町は6月4日、神奈川県川崎市出身の渡部真子さんに企業研修型地域おこし協力隊の委嘱状を交付しました。

渡部さんは、大学を卒業後にNPO法人を経て、道南にある体験牧場などを運営する会社に就職。前職場で一緒に働いた知人が、町内で馬搬を取り入れた林業を営んでいることを知り、見学时に刺激を受けて地域おこし協力隊に応募しました。将来、牧場経営を目指しています。

渡部さんは「馬に関わる仕事に加えて、林業にも興味があります。チェーンソーも使えるようになりたい」と抱負を述べると、宮坂町長は「さまざまなことに挑戦してください。楽しみにしています」とエールを送りました。

地域おこし協力隊 渡部真子さんに委嘱状を交付



夢の実現に向けて意欲を燃やす渡部さん

元胆振東部消防組合消防署厚真支署長の 吉村正弘さんが叙勲の瑞宝単光章を受章

町は6月7日、本年度の危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章を受章した元胆振東部消防組合消防署厚真支署長の吉村正弘さん(富里)に謝意を添えて受章を伝達しました。

吉村さんは、昭和47年4月に消防士として同支署に勤務して以来、平成25年3月の退職までの40年6カ月にわたり勤務しました。平成15年に消防司令に就任し、同25年から同支署長として組織を取りまとめ、献身的に火災予防の徹底に努めたほか、消防技術の錬磨に尽力して災害現場で大きな効果を上げた実績などが評価されました。

吉村さんは、昭和62年8月の大雨災害で軽舞地区にボートで人命救助に向かったことなどを振り返り、「受章は、先輩や同僚、後輩、そして家族の支えのお陰です。厚真支署の更なる発展を願っています」と喜びを語りました。



瑞宝単光章を受章した吉村さん

100歳のお祝い 新飯田うめ子さん(本郷) 奥村ソノ子さん(朝日)

町は、満100歳を迎えた新飯田うめ子さん(本郷)と奥村ソノ子さん(朝日)にそれぞれ百寿のお祝いを贈りました。

新飯田さんには6月10日に高齢者生活支援ハウスともいき荘で、奥村さんには6月15日に朝日地区の自宅を宮坂町長が訪ね、家族が見守る中、賞状などを手渡しました。

東和地区出身の新飯田さんは、9人兄弟の2女で、4人の子どもに恵まれ、現在は絵手紙作りを趣味にしています。新飯田さんは「皆さんに支えられ、心から毎日感謝しながら暮らしています。ありがとうございます」と喜びました。

上野地区出身の奥村さんは、9人兄弟の3女で、4人の子どもを育てました。舞踊が趣味で、今でも台所に立って得意の煮物料理を作るそうです。奥村さんは「皆さんにお世話になり、感謝しています」と笑顔を浮かべました。



新飯田治さん、幸恵さん夫妻と共に祝福を受ける新飯田うめ子さん



家族と一緒に祝福を受ける奥村ソノ子さん(前列中央)

東和地区の畑嶋賢蔵さん 11年ぶりに献穀米を田植え



ぬかるむ足元に注意しながら苗を植える早乙女姿の女性たち

6月に入り、町内3カ所で花壇づくりが行われ、愛らしい花が景色を飾りました。

6月2日には、町中心部で市街地環境整備事業が行われ、花フレンズや商工会女性部、地域おこし協力隊など約30人が参加しました。86カ所の街路樹花壇にペチュニア属のピンクモーンを植えました。

6月8日には、厚真建設協会が厚真大橋の交差点付近の大型花壇に花を植えました。約20人が集まり、8カ所の花壇に紫色のロベリアやマリーゴールドなど8種類880本を植えました。

また、6月9日には、浜厚真野原公園で、花壇整備が行われました。自治会や花フレンズ、町職員など約30人が参加し、2カ所合わせて長さ100mを越える花壇にサルビアやマリーゴールドなど約1,100本を植えると、道行くドライバーから笑顔がこぼれていました。

街を花でいっぱい 町内の3カ所で花壇づくり

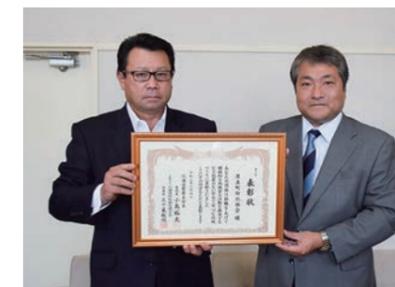


花壇を整備する厚真建設協会の参加者たち

町防犯協会 防犯功労ボランティア団体で表彰

町防犯協会(渡部孝樹会長)が令和3年度の公益財団法人北海道防犯協会防犯功労者等表彰で防犯功労のボランティア団体に選ばれ、苫小牧警察署の菊地健司署長が6月10日、町役場で表彰しました。

北海道胆振東部地震で関係者も被災した中で、窃盗など2次被害防止のパトロール活動を行うなど、安心して安全な地域づくりに貢献したことなどが評価されました。



賞状を手に記念撮影する町防犯協会の渡部会長と苫小牧警察署の菊地署長